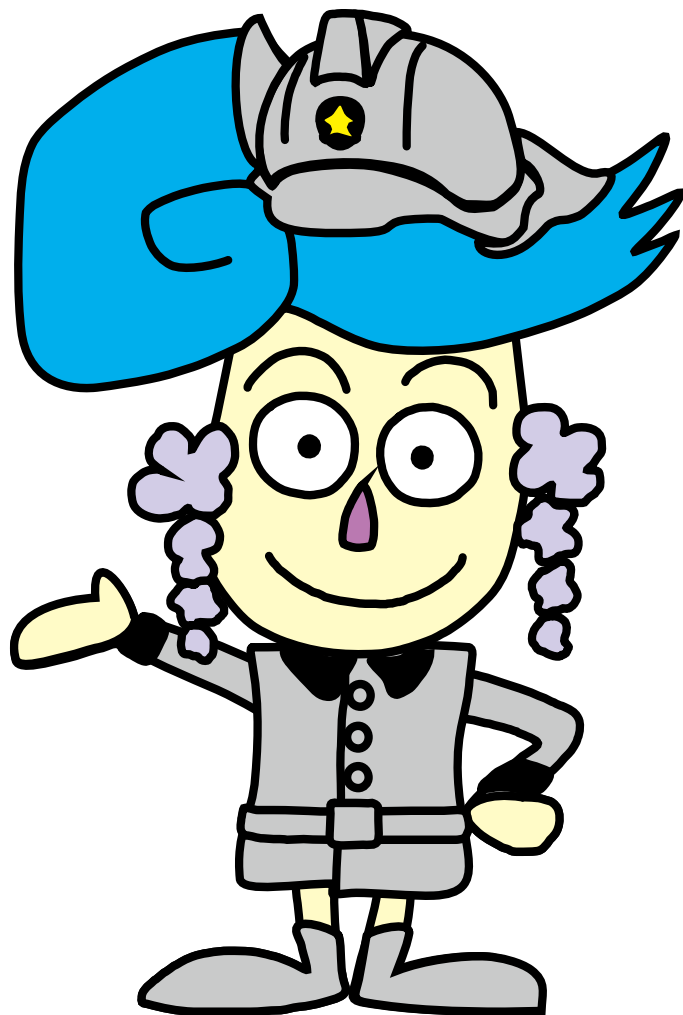


# —消防情勢—



## 江南市の概況

- 位置 / 東経 136度52分  
北緯 35度19分  
標高 19.582m
- 面積 / 30.20k㎡
- 広さ / 東西 6.13km  
南北 8.76km
- 周囲 / 32.0km



江南市は濃尾平野の北部、清流木曾川の南岸に位置し、地形は扇状地で全般に平坦であり、肥沃な土地や温暖な気候など暮らしに最適な自然環境となっています。また、名古屋市から20km圏に位置し、公共交通機関を利用して約20分で結ばれるなど、利便性が高く、ベッドタウンとして都市化が進み、愛知県尾張北部の主要都市となっています。

産業は、古くから繊維工業が盛んであり、近年では高級カーテン地がデザイン・品質・量とも全国から高い評価を得て、「インテリア織物の街江南」として知名度も高まっています。この他、内陸工業地域として食品産業や機械金属工業なども順調に伸張しています。

観光名所としては、尾張の名刹曼陀羅寺、戦国武将織田信長の側室「吉乃の方」ゆかりの久昌寺・生駒屋敷跡や円空仏の音楽寺、尾北自然歩道の桜並木など歴史の香り高い名所がいたるところに点在しています。藤の名所曼陀羅寺公園では、毎年4月中旬から5月上旬に、紫・紅・白と様々な色や、房は長く優雅な花房・短く可憐なもの・八重咲きのもの、たくさんの種類の約60本が色鮮やかに咲き誇る中、「江南藤まつり」が開催され県内外からの観光客で賑わっています。

### 人口、世帯数の推移

各年4月1日現在

区 分		H31年	R2年	R3年	R4年	R5年
人 口 (人)	男	49,302	49,283	49,043	48,746	48,431
	女	51,192	51,195	50,905	50,616	50,354
	計	100,494	100,478	99,948	99,362	98,785
世帯数(戸)		41,114	41,558	41,913	42,160	42,485

注：外国人登録含む事情

## 施設の現勢



江南市消防本部・消防署

位置	江南市赤童子町大堀70番地
敷地面積	3,196.50㎡（うち消防訓練用地581㎡）
構造	庁舎 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 車庫 鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積	1,300.07㎡
床面積	延面積 2,457.56㎡ 1階 497.58㎡ 2階 660.80㎡ 3階 681.58㎡ 塔屋 28.20㎡ 車庫 589.40㎡
建築年月日	昭和61年10月31日

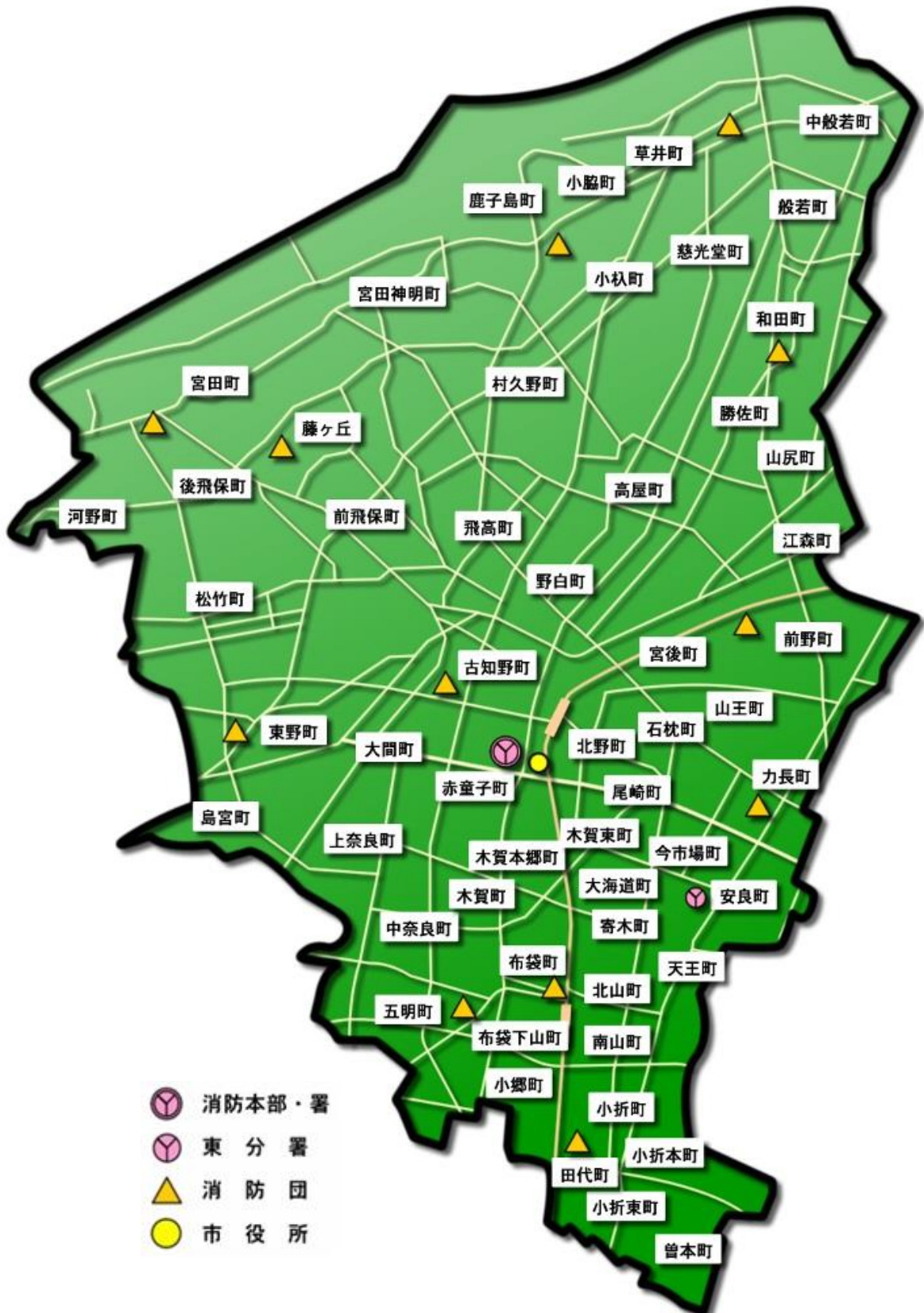


消防署東分署

位 置	江南市安良町八王子121番地
敷地面積	1,045.00㎡
構 造	庁 舎 鉄筋コンクリート造2階建 車 庫 鉄骨ALC造平屋建
建築面積	393.10㎡
床面積	延面積 516.52㎡ 1 階 177.94㎡ 2 階 170.28㎡ 車 庫 168.30㎡
建築年月日	平成10年3月2日

# 消防機関の配置図

R5. 4. 1 現在



## 江南消防のあゆみ

昭和29年	6月	市制施行により3町1村の消防団が合併、江南市連合消防団となる。
昭和30年	4月	消防団の整理統合を図り4団43分団765名に改組 三輪消防ポンプ自動車（ニッキ）2台購入第11、第13分団に各1台配備
	5月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入第1分団に、消防ポンプ自動車（トヨタ）1台購入第6分団にそれぞれ配備
昭和33年	4月	消防団の整理統合を図り1団13分団408名に改組
昭和34年	2月	三輪消防ポンプ自動車（ジャイアント）2台購入第10、第12分団に各1台配備
	12月	三輪消防ポンプ自動車（ダイハツ）1台購入第9分団に配備
昭和35年	1月	三輪消防ポンプ自動車（ダイハツ）1台購入第2分団に配備
昭和37年	3月	消防ポンプ自動車（プリンス）1台購入第8分団に配備
昭和39年	4月	消防組織法に基づき江南市消防本部及び消防署を設置
昭和40年	4月	消防ポンプ自動車2台、指令車1台、消防吏員21名で業務開始
	10月	消防団の整理統合を図り、1団5分団264名に改組
	12月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第2分団に配備
昭和41年	2月	小型動力ポンプ（芝浦）2台購入第1、第2分団に各1台配備
昭和42年	4月	消防吏員16名採用 総員36名
	5月	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
昭和43年	3月	救急車（トヨタ）1台購入、救急業務開始
	4月	消防吏員6名採用 総員42名
	6月	小型動力ポンプ（芝浦）1台購入第3分団に配備
昭和44年	1月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第4分団に配備
	4月	消防吏員2名採用 総員42名
	5月	指令車（トヨタ）1台購入（更新）
昭和45年	2月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第5分団に配備
	3月	屈折はしご付消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入
	4月	消防吏員4名採用 総員46名
		小型動力ポンプ（芝浦）3台購入署及び第4、第5分団に各1台配備
	12月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第3分団に配備
昭和46年	4月	消防吏員3名採用 総員48名
	7月	予防指導車（トヨタ）1台購入
	8月	消防吏員1名採用 総員49名
	9月	消防吏員2名採用 総員51名

昭和46年	10月	水槽付消防ポンプ自動車1台購入	
		消防吏員1名採用	総員52名
		消防団の整理統合を図り、1団5分団239名に改組	
	11月	消防吏員1名採用	総員53名
昭和47年	4月	消防吏員1名採用	総員54名
	8月	消防吏員1名採用	総員53名
昭和48年	4月	消防吏員1名採用	総員52名
	6月	消防吏員1名採用	総員50名
	7月	小型動力ポンプ（芝浦）1台購入第3分団に配備	
	8月	消防吏員1名採用	総員51名
		県共済農業協同組合連合会から救急車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
	9月	消防吏員1名採用	総員52名
	12月	消防吏員1名採用	総員53名
昭和49年	1月	消防吏員1名採用	総員54名
	2月	消防吏員3名採用	総員57名
	4月	消防吏員6名採用	総員62名
	6月	消防吏員1名採用	総員62名
	10月	小型動力ポンプ（芝浦）1台購入第1分団に配備	
	11月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第1分団に配備	
昭和50年	1月	消防吏員1名採用	総員63名
	4月	消防吏員4名採用	総員65名
	5月	消防吏員1名採用	総員66名
	10月	江南ライオンズクラブから小型動力ポンプ積載車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
昭和51年	4月	消防吏員2名採用	総員68名
		消防団の整理統合を図り、1団5分団193名に改組	
	9月	小型動力ポンプ（芝浦）1台購入	
	10月	消防吏員2名採用	総員67名
		小型動力ポンプ（芝浦）1台購入第3分団に配備	
	12月	水槽車（10t）（ニッサン）1台購入	
昭和52年	4月	消防吏員4名採用	総員71名
		消防団の整理統合を図り、1団5分団183名に改組	
	6月	小型動力ポンプ積載車（トヨタ）1台購入第3分団に配備	
昭和53年	2月	日本損害保険協会から救急車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
	4月	消防吏員5名採用	総員76名
	10月	日本損害保険協会から化学車（日野）1台寄贈を受ける。	
昭和54年	1月	消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入	（更新）

昭和54年	2月	東京海上火災保険から資機材搬送車（三菱）1台寄贈を受ける。	
	4月	消防吏員8名採用	総員84名
		指令車（トヨタ）1台購入（更新）	
		119専用電話3機増設（総数6機）	
	10月	救急医療情報システム導入	
昭和55年	2月	救急車（トヨタ）1台購入（更新）	
		消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入（更新）	
	8月	第25回愛知県消防操法大会が本市北野グラウンドで開催される。	
	9月	財団法人日本消防協会から広報車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
	11月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第2分団に配備	
昭和56年	4月	消防吏員2名採用	総員84名
昭和57年	11月	愛知県共済生活協同組合から指導車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入	
昭和58年	4月	消防吏員3名採用	総員83名
昭和60年	2月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第4分団に配備	
	4月	消防吏員2名採用	総員84名
	12月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第5分団に配備	
		小型動力ポンプ（芝浦）及び積載車（トヨタ）各1台購入	
昭和61年	10月	小型動力ポンプ（芝浦）2台購入第1、第2分団に各1台配備	
	11月	新消防庁舎竣工（江南市赤童子町大堀70番地）	
		消防緊急情報システム導入	
		指令装置、無線統制台、地図等検索装置（光ディスク） 車両動態自動運用装置 [AVM、基地局1機・移動局（端末）15機]、消防無線電話（10W、基地局1機） 救急専用無線電話（10W、基地局1機・移動局5機） 総合気象観測装置設置	
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入	
昭和62年	2月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第3分団に配備	
	4月	消防吏員1名採用	総員84名
	5月	小型動力ポンプ（芝浦）1台購入第3分団に配備	
		船外機付折りたたみ式アルミボート1艇購入	
平成元年	3月	愛知県共済生活協同組合から救急車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
	4月	消防吏員1名採用	総員83名
	10月	はしご付消防自動車（三菱）1台購入	
平成2年	2月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第1分団に配備	
	4月	消防吏員2名採用	総員84名
	9月	広報車（ダイハツ）1台購入	



平成 3年	2月	救助工作車（日野）1台及び救助資機材一式購入	
	3月	小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）3台購入第3、第4、第5分団に各1台配備	
		小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）1台購入第1分団に配備	
	4月	消防吏員2名採用	総員86名
		消防本部に予防課が新設される。	
	11月	第45回愛知県消防大会が江南市民文化会館で開催される。	
	12月	小型動力ポンプ付（芝浦）水槽車（10t）（三菱）1台購入（更新）	
平成 4年	3月	愛知県共済生活協同組合から広報車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
		指令車（トヨタ）1台購入（更新）	
		小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）2台購入第3分団に配備	
	4月	消防吏員1名採用	総員87名
平成 5年	2月	救急車（ニッサン）1台購入（更新）	
	12月	消防ポンプ自動車（三菱）1台購入（更新）	
平成 6年	2月	高規格救急車（ニッサン）1台購入（更新）及び高度救命処置用資機材一式購入	
	4月	消防吏員2名採用	総員89名
	6月	救助ボート（ヤマハ）1艇購入	
	9月	資機材搬送車（ニッサン）1台購入	
		指導車（トヨタ）1台購入（更新）	
平成 7年	2月	化学車（いすゞ）1台購入（更新）	
		第2分団前野車庫を廃止し、宮後車庫を新築	
		小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）1台購入第2分団に配備	
	4月	消防吏員3名採用	総員92名
	10月	消防署救急隊詰所業務開始（線路東管内救急出動対応）	
平成 8年	3月	消防ポンプ自動車（ニッサン）1台購入第2分団に配備	
		消防ポンプ自動車（三菱）1台購入（更新）	
	4月	消防吏員5名採用	総員96名
	8月	全国消防救助技術大会出場（種目：斜めブリッジ救助）	
平成 9年	3月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入（更新）	
	4月	消防吏員6名採用	総員99名
		予防課を予防防災課に改名し、防災係が新設される。	
	8月	積載車（トヨタ）1台購入（更新）	
平成10年	1月	愛知県共済生活協同組合から積載車（トヨタ）1台寄贈を受ける。	
	2月	広報車（スズキ）1台購入	
	3月	消防署東分署竣工（江南市安良町八王子121番地）	
	4月	消防吏員7名採用	総員104名

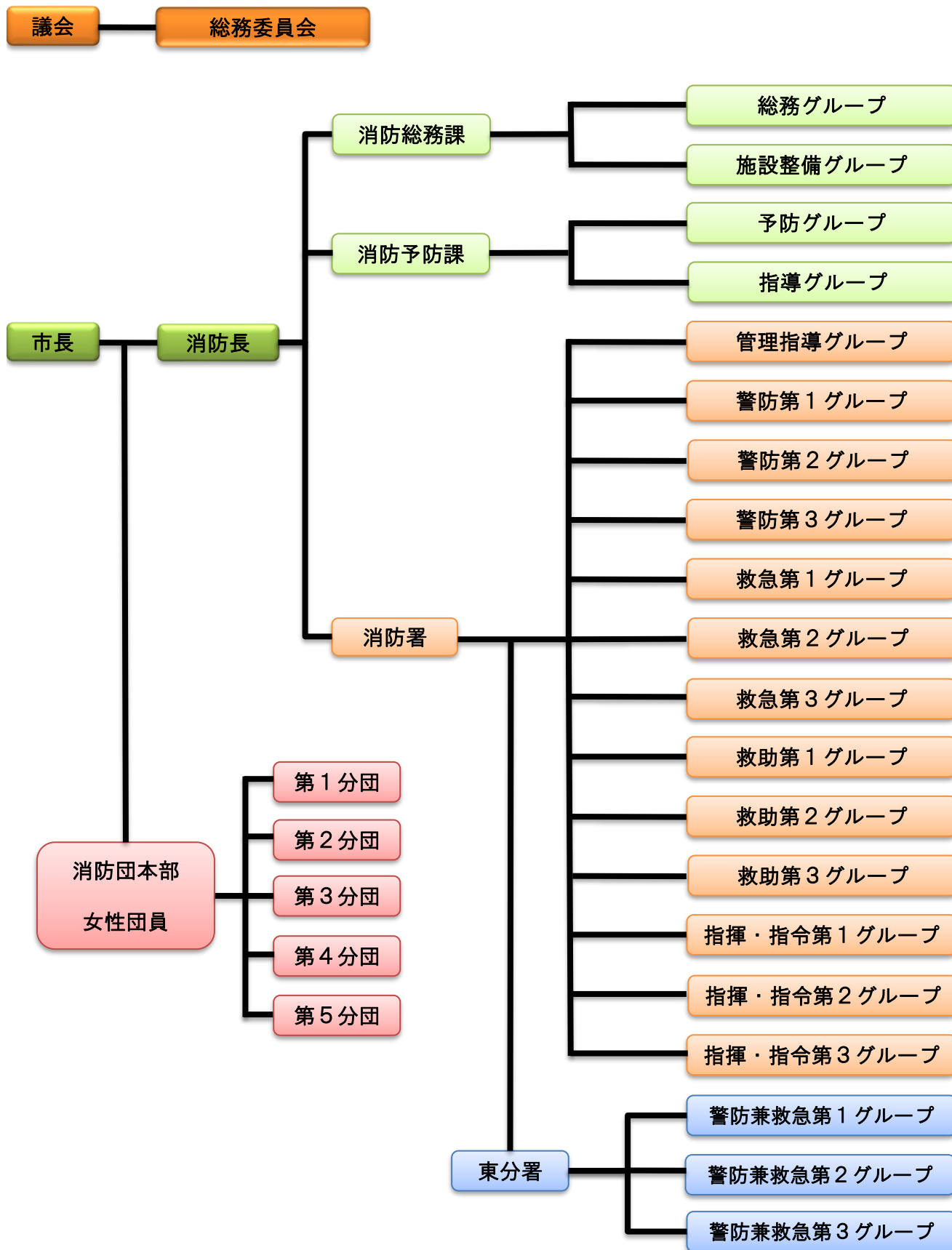
平成10年	4月	消防署東分署業務開始（13名）、消防署救急隊詰所廃止 災害時連絡用FAX設置、消防団車庫6機 （東野、宮後、小折、五明、本郷、草井）
	5月	江南市消防団ラッパ隊結成（13名）
平成11年	1月	消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入第4分団に配備
	4月	消防吏員5名採用 総員109名 災害時連絡用FAX設置、消防団車庫6機（各分団本部、寄木）
	6月	NTTテレドーム（緊急時自動案内）接続 0180-995-570
平成12年	1月	消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入第5分団に配備
	4月	江南消防音楽隊結成（16名） 消防吏員7名採用 総員115名
	10月	新第5分団本部車庫竣工（江南市小杵町明土56番地）
	11月	水槽付消防ポンプ自動車（三菱）1台購入（更新）
	12月	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）を導入 指令台、地図等検索装置、無線統制台、病院状況表示盤 車両運用表示盤、災害情報収集表示盤、総合情報表示盤 車両動態監視装置(AVM)、気象観測装置、無線通信装置 出退表示盤、指令電送出力装置、サイレン吹鳴装置設置
平成13年	2月	高規格救急車（トヨタ）1台購入（更新）
	4月	消防吏員1名採用 総員115名
	9月	日本宝くじ協会から訓練指導車（マツダ）1台寄贈を受ける。
平成14年	2月	愛知県共済生活協同組合から広報車（トヨタ）1台寄贈を受ける。
	5月	第58回全国消防長会救急委員会がすいとぴあ江南で開催される。
	12月	新第3分団本部車庫竣工（江南市布袋町南225番地）
平成15年	1月	消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入第3分団に配備
	2月	高度情報通信ネットワークシステム運用開始
	4月	消防吏員1名採用 総員113名
平成16年	1月	高規格救急車（ニッサン）1台購入（新規）
	3月	小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）4台購入 第1分団東野、第3分団五明、第4分団本郷、第5分団草井に配備
	4月	消防吏員2名採用 総員113名
	11月	新第4分団本部車庫竣工（江南市後飛保町薬師91-2番地）
平成17年	4月	消防吏員3名採用 総員108名
	5月	消防吏員1名採用 総員109名
	8月	全国消防救助技術大会出場（種目：引き揚げ救助）
平成18年	1月	高規格救急車（ニッサン）1台購入（更新） 消防ポンプ自動車（いすゞ）1台購入第1分団に配備
	4月	消防吏員1名採用 総員109名
	9月	指導車（トヨタ）1台購入（更新）

平成18年	9月	資機材搬送車（トヨタ）1台購入（更新）	
平成19年	2月	救助工作車（日野）1台購入（更新）	
	4月	消防吏員2名採用	総員108名
	12月	新第2分団本部車庫竣工（江南市和田町中145番地） 新第1分団東野車庫竣工（江南市東野町西出124番地） 小型動力ポンプ付水槽車（日野）1台購入（更新）	
平成20年	2月	小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）2台購入 第3分団寄木、第3分団小折に配備	
	4月	消防吏員4名採用 グループ制を導入する。 組織再編成	総員104名
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総務課と予防防災課を統合し、総務予防課とする。</li> <li>・ 旧予防防災課防災係の防災業務を市役所の生活産業部 防災安全課防災グループへ移行する。</li> </ul> </div>	
平成21年	4月	消防吏員7名採用 指揮隊運用開始	総員105名
	9月	35m先端屈折はしご車（日野）1台購入（更新）	
	10月	消防ポンプ自動車（日野）1台購入（更新）	
平成22年	1月	日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽積載車（スバル） 1台寄贈を受け、第1分団本部に配備	
	4月	消防吏員4名採用 連絡1号車（トヨタ・白色）福祉課より所管替え	総員105名
	5月	高規格救急車（ニッサン）1台購入（更新）	
	7月	総務省消防庁から救助資機材搭載型車両（いすゞ）1台貸与を受け、 第3分団寄木に配備。それに伴い、小型動力ポンプ付積載車（トヨタ） を第2分団宮後に配備転換。	
	10月	新第1分団本部車庫竣工（江南市古知野町宮裏226番地外3）	
	11月	第10回愛知県尾張地区消防大会が江南市民文化会館で開催される。	
平成23年	4月	消防吏員5名採用	総員106名
	6月	連絡2号車（トヨタ・白色）防災安全課より所管替え	
	8月	広報1号車（スズキ・白色）1台購入	
	11月	小牧市ほか3市2一部事務組合の通信指令センターの設置に関する 協定書締結	
	12月	新第3分団秋津車庫竣工（江南市力長町社宮司131番地2）	
平成24年	1月	指揮車（トヨタ）1台購入（更新） 消防訓練用地（江南市赤童子町大堀71番地、581㎡）購入	
	2月	消防ポンプ自動車（日野）1台購入（更新） 消防ポンプ自動車（トヨタ）1台購入第2分団本部に配備	
	3月	資機材運搬車（いすゞ）1台購入	

平成24年	4月	消防吏員3名採用	総員106名
平成25年	1月	水槽付消防ポンプ車(日野)1台購入(更新)	
	2月	日本消防協会から指令車(三菱)1台寄贈を受ける。	
平成26年	4月	消防吏員2名採用	総員106名
	8月	積載車(ニッサン)1台購入(更新)	
		全国消防救助技術大会出場(種目:引き揚げ救助)	
平成27年	1月	高規格救急車(ニッサン)1台購入(更新)	
	4月	消防吏員3名採用	総員106名
平成28年	4月	第1回江南市消防操法大会開催(優勝 第5分団)	
	1月	消防ポンプ自動車(トヨタ)1台購入第4分団に配備	
		高規格救急車(トヨタ)1台購入(更新)	
		化学車(日野)1台購入(更新)	
平成29年	4月	消防吏員4名採用	総員106名
		女性消防団員16名採用	
		第2回江南市消防操法大会開催(優勝 第4分団)	
平成30年	1月	愛知県共済生活協同組合から広報3号車(トヨタ)1台寄贈	
	4月	消防吏員5名採用	総員106名
平成31年		第3回江南市消防操法大会開催(優勝 第2分団)	
	2月	高規格救急車(トヨタ)1台購入(更新)	
	4月	消防吏員9名採用	総員105名
令和元年		連絡2号車(スズキ・白色)1台購入	
	4月	消防吏員3名採用	総員106名
令和2年		第4回江南市消防操法大会開催(優勝 第4分団)	
	6月	連絡1号車(トヨタ・白色)1台購入(更新)	
令和3年	1月	消防ポンプ自動車(トヨタ)2台購入第3分団第5分団に配備	
	4月	消防吏員5名採用	総員105名
令和4年		第5回江南市消防操法大会開催(優勝 第5分団)	
	9月	広報2号車(ダイハツ)1台購入(更新)	
令和5年	12月	水槽付消防ポンプ自動車(日野)1台購入(更新)	
	4月	消防吏員2名採用	総員105名
令和6年	4月	消防吏員6名採用	総員106名
		小型動力ポンプ付積載車(ニッサン)4台購入	
		第1分団東野、第3分団五明、第4分団本郷、第5分団草井に配備	
令和7年	2月	高規格救急車(トヨタ)1台購入(更新)	
	4月	消防吏員2名採用	総員107名
令和8年	2月	資機材搬送車(トヨタ)1台購入(更新)	
	4月	消防吏員2名採用	総員105名

# 消防組織・機構図

R 5. 4. 1 現在



## 事務分掌

---

### 消防総務課

消防総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 消防職員の資質向上と安全で安心して職務に専念できる環境を形成するため、消防職員の人事管理をすること。
- (2) 消防団及び水防団が円滑に活動できるよう、運営を支援すること。
- (3) 社会環境の変化に対応できる消防行政を確立するため、広域での情報交換及び連絡調整をすること。
- (4) 消防防災体制の充実及び強化を図るため、施設、車両、物品等の更新及び維持管理をすること。
- (5) 災害に対し、安全かつ迅速に対応することができるよう、車両及び機械器具の保全をすること。
- (6) 消防本部及び消防署の経営及び業務を円滑に進めるため、消防本部及び消防署の連絡調整をすること。

### 消防予防課

消防予防課は、次の事務を処理する。

- (1) 市民の防火意識を高めるため、啓発活動をすること。
- (2) 効果的な防火対策を推進するため、火災原因、損害等の調査をすること。
- (3) 防火対象物の状況及び火災の発生状況を把握し、火災予防の資料とするため、統計調査をすること。
- (4) 市民の防火対策を推進するため、火災予防の指導をすること。
- (5) 建築物の安全性を図るため、建築許可等の同意及び防火対策を指導すること。
- (6) 危険物の災害を減らすため、危険物の取扱いに関する規制、指導、立入検査等をすること。

## 消防署

消防署は、次の事務を処理する。

- (1) 消防職員及び団員の技術を向上させるため、教育訓練をすること。
- (2) 消防行政への市民の理解を深めるため、出初式及び観閲式を開催すること。
- (3) 円滑な消火活動を行うことができるよう、消防計画の校正並びに消防水利の計画及び整備をすること。
- (4) 市民による救命率を高めるため、応急手当の普及をすること。
- (5) 救急隊の救命技術を向上させるため、事後検証や症例検討をすること。
- (6) 市民の生命を守るため、救急活動を行うこと。
- (7) 市民の生命を守るため、救助活動を行うこと。
- (8) 救命率を向上させるため、高度な技術をもつ救急隊員を養成すること。
- (9) 救急活動を円滑に行うことができるよう、調査及び訓練をすること。
- (10) 救助活動を円滑に行うことができるよう、調査及び訓練をすること。
- (11) 市民の生命及び財産を守るため、災害活動を行うこと。
- (12) 迅速な消防活動が実施できるよう、地理の把握並びに消防用水利の点検及び維持管理をすること。
- (13) 消防活動を円滑に行うことができるよう、調査及び訓練をすること。

## 消防費（当初）予算・消防費決算

### 消防費（当初）予算

（単位：千円）

区 分 \ 年 度		3	4	5
消 防 費		1,092,884	984,309	1,152,082
内 訳	常 備 消 防 費	1,021,077	925,536	939,531
	非 常 備 消 防 費	36,813	36,637	37,297
	消 防 施 設 費	33,003	19,698	173,266
	水 防 費	1,991	2,438	1,988
市 民 一 人 当 り		10,935 円	9,906 円	11,662 円
比 率（消 / 市）		3.6%	3.1%	3.9%
市 一 般 会 計 予 算		29,883,104	32,070,781	29,436,155

### 消防費決算

（単位：千円）

区 分 \ 年 度		3 1	2	3
消 防 費		998,845	948,306	1,066,622
内 訳	常 備 消 防 費	898,003	909,982	983,955
	非 常 備 消 防 費	33,436	25,281	26,717
	消 防 施 設 費	65,232	11,052	53,959
	水 防 費	2,174	1,991	1,991
市 民 一 人 当 り		9,939 円	9,438 円	10,735 円
比 率（消 / 市）		3.4%	2.3%	3.1%
市 一 般 会 計 歳 出		29,525,793	41,564,749	34,460,736



## 面積・人口・世帯数に対する消防力の比較

R5. 4. 1 現在

消防本部（消防吏員：105人 消防ポンプ自動車：4台）					
消防吏員1人に対する			消防ポンプ自動車1台に対する		
面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数
k m <sup>2</sup>	人	世帯	k m <sup>2</sup>	人	世帯
0. 28	941	405	7. 55	24, 696	10, 622

消防団（消防団員：198人 消防ポンプ自動車：5台）					
消防団員1人に対する			消防ポンプ自動車1台に対する		
面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数
k m <sup>2</sup>	人	世帯	k m <sup>2</sup>	人	世帯
0. 15	499	215	6. 04	19, 757	8, 497

## 基準消防力と現有消防力（常備）との比較

R5. 4. 1現在

区 分		基準数	現有数	充足率
署 所 数		3 署	2 署	66.7%
消防水利（メッシュによる）		858	725	84.5%
消 防 車 両				
消 防 ポ ン プ 自 動 車		6 台	4 台	66.7%
は し ご 車		1 台	1 台	100%
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1 台	1 台	100%
救 急 自 動 車		5 台	4 台	80.0%
救 助 工 作 車		1 台	1 台	100%
そ の 他 の 車 両	指 揮 車	1 台	1 台	100%
	小型動力ポンプ付水槽車		1 台	
	資 機 材 搬 送 車		1 台	
	指 導 車		1 台	
	広 報 車		3 台	
	積 載 車		1 台	
	指 令 車		1 台	
	連 絡 車		2 台	
	資 機 材 運 搬 車		1 台	
合 計			23 台	

## 現有台数に対する人員基準及び現有人員

R5. 4. 1 現在

現 有 台 数			現有台数に対する人員基準	現 有 人 員
乗換	水槽付消防ポンプ自動車	1台	16人	75人
	化学車	1台		
乗換	水槽付消防ポンプ自動車	1台	29人	
	消防ポンプ自動車	1台		
	救急車	1台		
救急車		3台	29人	
消防ポンプ自動車		1台	12人	
はしご車		1台	12人	
救助工作車		1台	16人	
指揮車		1台	9人	
広報車		2台	16人	
その他車両		9台		
予防要員			23人	8人
通信要員（共同運用含む）			5人	8人
その他の消防吏員			19人	16人
合計		23台	186人	107人

※ 勤務体制は三交替制

※ 再任用職員含む

# 消防吏員年齢状況

R5. 4. 1 現在  
(単位：人)

区分 年齢別	計	うち女性	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
20	1	1							1
21	1	1							1
22	0								
23	3								3
24	5								5
25	4								4
26	4							2	2
27	6	1						6	
28	3							3	
29	1							1	
30	4						2	2	
31	1						1		
32	2						2		
33	1						1		
34	2						2		
35	3						3		
36	4						4		
37	4						4		
38	3					2	1		
39	3					1	2		
40	2					1	1		
41	3					3			
42	3					3			
43	6					5	1		
44	1				1				
45	1					1			
46	3				1	2			
47	7				6	1			
48	4				3	1			
49	6				4	2			
50	6				6				
51	0								
52	3			2	1				
53	0								
54	1			1					
55	2				2				
56	1				1				
57	0								
58	0								
59	1		1						
計	105	3	1	3	25	22	24	14	16
平均年齢(歳)	39.2	22.7	59.0	52.7	49.2	43.1	35.5	27.6	23.9

# 消防吏員の配置状況

R5. 4. 1 現在  
(単位：人)

階級別 所属別	計	うち女性	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
実員	105	3	1	3	25	22	24	14	16
消防本部	1		1						
消防総務課	7			1	2	2	1	1	
総務 G	3				1		2		
施設整備 G	2				1	1			
消防総務課合計	12	0	0	1	4	3	3	1	0
消防予防課	1			1					
予防 G	3				1		2		
指導 G	4				1	1	2		
消防予防課合計	8	0	0	1	2	1	4	0	0
消防署	5			1	4				
管理指導 G	3				1	1	1		
指揮・指令第1 G	3				1	1	1		
指揮・指令第2 G	3				1	1	1		
指揮・指令第3 G	3				1	1	1		
警防第1 G	5	1				2			3
警防第2 G	5				1	1	1		2
警防第3 G	5	1				2	1		2
救急第1 G	7				1	1	1	3	1
救急第2 G	7	1			1	1	2	2	1
救急第3 G	7				1	1	1	2	2
救助第1 G	4				1	1	1		1
救助第2 G	4				1	1	1		1
救助第3 G	4				1	1		1	1
本署合計	65	3	0	1	15	15	12	8	14
東分署	1				1				
警防兼救急第1 G	6				1	2	1	1	1
警防兼救急第2 G	6				1		2	3	
警防兼救急第3 G	6				1	1	2	1	1
東分署合計	19	0	0	0	4	3	5	5	2

※G：グループ

## 消防吏員勤続年数状況

R5. 4. 1現在  
(単位：人)

階級別 年数別	計	うち女性	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
5年～9年	18	1					4	12	2
10年～14年	15						15		
15年～19年	12					8	4		
20年～24年	13				4	8	1		
25年～29年	23			1	17	5			
30年以上	8		1	2	4	1			
計	105	3	1	3	25	22	24	14	16

## 消防吏員居住地状況

R5. 4. 1現在  
(単位：人)

階級別 地区別	計	うち女性	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
一宮市	7			1	2	3	1		
岩倉市	1								1
扶桑町	2				1	1			
大口町	4				1	1	2		
犬山市	4				3			1	
小牧市	2						1	1	
春日井市	2							1	1
名古屋市	1						1		
小計	95	1	1	2	22	21	22	13	14
岐阜県									
各務原市	7			1	3		2	1	
美濃加茂市	1					1			
小計	8	0	0	1	3	1	2	1	0
静岡県									
浜松市	1	1							1
小計	1	1							1
三重県									
鈴鹿市	1	1							1
小計	1	1							1
合計	105	3	1	3	25	22	24	14	16

## 消防吏員特殊技術取得状況（消防司令以下）

R5. 4. 1現在  
（単位：人）

	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
吏員数	25	22	24	14	16	101
大型自動車免許	25	21	24	12	5	87
危険物取扱者（甲）	1	0	1	0	0	2
危険物取扱者（乙）	16	7	9	1	0	33
消防設備士（甲）	1	1	0	0	0	2
消防設備士（乙）	5	3	1	0	0	9
予防技術資格者(防火査察)	7	2	6	0	0	15
予防技術資格者(消防設備)	6	2	3	0	0	11
予防技術資格者(危険物)	4	1	1	0	0	6
ACLS（インストラクター・アドバンス）	4	2	6	0	0	12
BTLS（インストラクター・アドバンス）	4	8	2	0	0	14
JPTEC（インストラクター・アドバンス）	10	11	19	8	1	49
救急救命士	7	6	8	3	4	28
薬剤投与認定	7	6	8	3	2	26
薬剤投与インストラクター	4	6	1	0	0	11
気管挿管認定	3	3	2	0	0	8
気管挿管インストラクター	3	3	1	0	0	7
応急手当指導員	25	22	24	14	14	99
テクニカルロープレスキュー	7	9	7	1	1	25
スイフトウォーターレスキュー①	5	10	4	0	0	19
スイフトウォーターレスキュー②	1	2	0	0	0	3
潜水士	12	9	10	4	1	36
小型船舶操縦士	10	7	5	0	0	22
第2級陸上特殊無線技士	6	16	24	14	14	74
第3級陸上特殊無線技士	20	6	0	0	0	26
自動車整備士	0	1	0	0	0	1
衛生管理者	5	2	4	0	0	11
足場組立主任者	4	5	1	0	0	10
第2種酸素欠乏危険作業主任者	13	9	12	0	0	34
小型移動式クレーン運転技能講習修了者	25	22	24	10	4	85
巻上げ機運転業務特別教育修了者	1	4	1	0	0	6
玉掛技能講習修了者	25	22	24	14	14	99
特定化学物質	1	2	0	0	0	3

# 消防本部・消防署車両一覧表

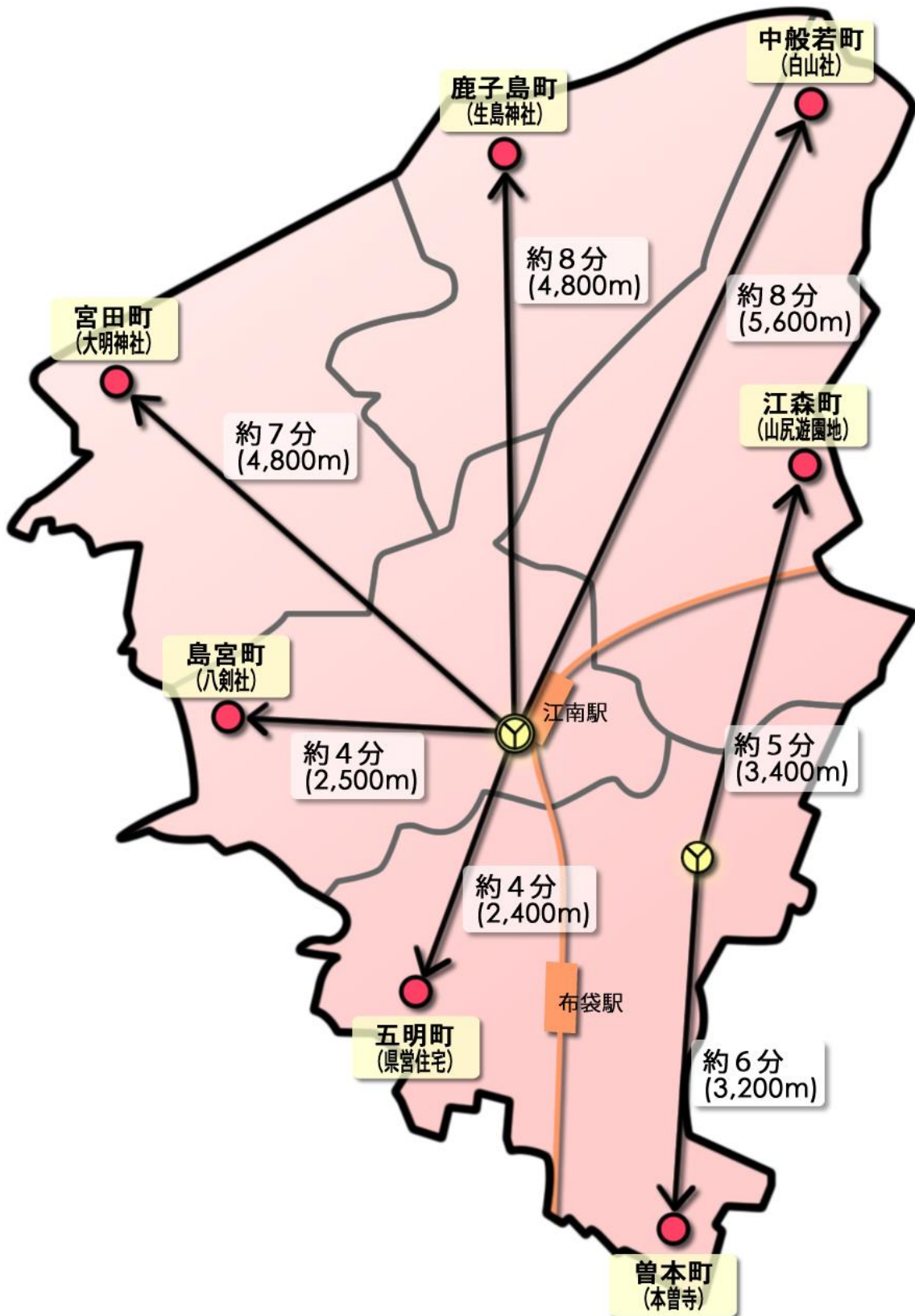
R5. 4. 1 現在

No.	車 両 名	車両名	登録年月日	経過年数	形 式	納入業者	ポンプ性能	備 考
1	救急1号車	トヨタ	令和4年2月18日	1年1ヶ月	高規格	愛知トヨタ		
2	救急2号車	ニッサン	平成26年1月31日	9年2ヶ月	高規格	愛知ニッサン		
3	救急3号車	トヨタ	平成27年1月21日	8年2ヶ月	高規格	愛知トヨタ		
4	救急4号車	トヨタ	平成29年2月15日	6年1ヶ月	高規格	愛知トヨタ		
5	タンク1号車	日野	令和1年12月16日	3年3ヶ月	水Ⅱ型	モリタ	A-2級	水槽2.0トン
6	タンク2号車	日野	平成25年1月23日	10年2ヶ月	水Ⅱ型	モリタ	A-2級	水槽2.0トン
7	ポンプ1号車	日野	平成24年2月27日	11年1ヶ月	CD-I型	三陽商会	A-2級	電動ホースレイヤー付
8	ポンプ2号車	日野	平成21年10月29日	13年5ヶ月	CD-I型	三陽商会	A-2級	電動ホースレイヤー付
9	化学車	日野	平成27年2月6日	8年1ヶ月	化Ⅱ型	モリタ	A-2級	泡薬剤0.5トン、水槽1.5トン
10	水槽車	日野	平成19年12月13日	15年3ヶ月	水槽Ⅱ型	モリタ	B-3級	水槽10トン、小型動力ポンプ付
11	はしご車	日野	平成21年9月17日	13年6ヶ月	30m級	モリタ		バスケット付
12	救助工作車	日野	平成19年2月16日	16年1ヶ月	工作Ⅱ型	平和機械		クレーン、ウインチ、照明付
13	指令車	三菱	平成25年2月20日	10年1ヶ月		名北三菱		
14	積載車	ニッサン	平成25年8月6日	9年7ヶ月		江南自動車販売		
15	指導車	トヨタ	平成18年9月13日	16年6ヶ月		平和機械		
16	指揮車	トヨタ	平成24年1月18日	11年2ヶ月		平和機械		
17	広報1号車	スズキ	平成23年8月25日	11年7ヶ月		南條モータース		
18	広報2号車	ダイハツ	令和1年9月18日	3年6ヶ月		江南自動車販売		
19	広報3号車	トヨタ	平成28年1月6日	7年2ヶ月		愛知トヨタ		
20	連絡1号車	トヨタ	平成30年6月5日	4年9ヶ月		古知野自動車		
21	連絡2号車	スズキ	平成29年4月26日	5年11ヶ月		江南スズキ自動車		
22	資機材搬送車	トヨタ	令和5年3月1日	0年1ヶ月		平和機械		垂直式パワーゲート付
23	資機材運搬車	いすゞ	平成24年3月26日	11年0ヶ月		東海いすゞ		アーム式パワーゲート付



# 消防署・東分署からの出動所要時間

R5. 4. 1 現在



## 救助・救急用資機材保有状況

R5. 4. 1現在

資 機 材 名		数 量	資 機 材 名		数 量
一 般 救助用	三 連 は し ご	4 式	隊 員 保護用	耐 電 衣	4 式
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1 式		耐 電 ズ ボ ン	4 式
	救 命 索 発 射 銃	1 式		耐 電 長 靴	4 式
重 量 物 排除用	可 搬 ウ ィ ン チ	2 式		陽 圧 式 化 学 防 護 服	3 式
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	2 式	化 学 防 護 服	13 式	
	油 圧 ラ ム シ リ ン ダ ー	1 式	水 難 救助用	潜 水 具	7 式
	大 型 油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1 式		救 命 ボ ー ト	2 式
切 断 破壊用	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	5 式	救 急 用	血 圧 計	19 式
	チ ェ ン ソ ー	2 式		血 中 酸 素 飽 和 度 測 定 器	17 式
	空 気 鋸	2 式		聴 診 器	16 式
	大 型 油 圧 切 断 器	1 式		自 動 体 外 式 除 細 動 器	6 式
	空 気 切 断 機	1 式		ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	6 式
	削 岩 機	3 式		バ ッ ク ボ ー ド	13 本
測 定 用	複 合 型 ガ ス 測 定 器	3 式		呼 気 二 酸 化 炭 素 測 定 器 具	5 式
	有 毒 ガ ス 測 定 器	1 式		リ ン グ カ ッ タ ー	3 式
	放 射 線 測 定 器	4 式		電 動 式 吸 引 機	11 式
呼 吸 保護用	空 気 呼 吸 器	28 基		患 者 監 視 装 置	4 式
	防 塵 マ ス ク	19 式		人 工 呼 吸 器	4 式
	送 排 風 機	4 式		ロ ー ル ボ ー ド	4 式

## 消防資機材保有状況

R5. 4. 1現在

資 機 材 名		数 量	資 機 材 名		数 量
消 火 用 ホース	6 5 mm	327 本	熱 画 像 直 視 装 置	2 式	
	5 0 mm	226 本	耐 熱 服	2 式	
	4 0 mm	36 本	ラ イ ン プ ロ ポ ー シ ョ ナ ー	3 式	
泡 消 火 薬 剤	ク ラ ス A	470 ㊦	泡 ノ ズ ル	5 式	
	ク ラ ス B	806 ㊦	多 目 的 消 火 ユ ニ ッ ト	2 式	
	耐 アル コ ー ル	440 ㊦	油 吸 着 剤 ( 1 袋 1 0 キ ロ )	13 袋	

## 管区別水利状況

R5. 4. 1現在

(単位：基)

種別 管区別	水利基準適合						水利基準不適合				
	40t級		40t未満 防火水槽	100t以上		消 火 栓	プ   ル	合 計	40t 未満 防火水槽	消 火 栓	合 計
	防火水槽	耐震性 貯水槽									
	有蓋	有蓋	有蓋	防火水槽	耐震性 貯水槽						
第1管区	79	14	2	1	1	154	4	255		49	49
第2管区	81	16	4			140	3	244	1	32	33
第3管区	69	16				117	4	206		66	66
第4管区	78	8	2			67	2	157		3	3
第5管区	45	17	1			53	4	120		22	22
合計	352	71	9	1	1	531	17	982	1	172	173

## 通信施設状況

R5. 4. 1現在

無			線		電			話	
陸上移動局			署活系	一般 加入	携帯 電話	FAX	専用線		
車載型	携帯型	可搬型					市役所		
19	20	卓上含む 3	30	9	22	2	6		



## 月別119着信状況

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火 災	1	2	10	3	6	4	0	5	1	1	4	2	39	
	0	2	7	2	3	4	0	4	1	1	4	2	30	
救 急	399	398	372	369	350	401	459	480	399	372	437	527	4,963	
	195	194	182	188	178	215	241	253	210	209	208	262	2,535	
救 助	4	3	2	9	2	1	9	5	6	2	5	4	52	
	4	3	2	9	2	1	8	5	6	2	5	3	50	
そ の 他	いた ず ら	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3	0	2	8
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	誤 報	14	24	14	20	9	12	18	18	18	16	13	26	202
		8	23	7	10	5	9	9	12	14	10	9	18	134
そ の 他	111	63	89	91	87	82	152	120	91	121	123	105	1,235	
	51	24	30	49	46	36	54	61	48	57	68	70	594	
合 計	529	490	488	493	454	500	638	629	515	515	582	666	6,499	
	258	246	228	258	234	265	312	335	279	279	294	356	3,344	

※   の数字は携帯からの119着信件数

提供：尾張中北消防指令センター

## 消防相互応援協定

### 隣接市町村等との応援協定

R5. 4. 1 現在

協 定 名	協 定 年 月 日	隣 接 市 町 村 等
消防（救急）相互応援協定	S44. 4. 1 (改H18. 12. 18)	犬山市
消防（救急）相互応援協定	S44. 5. 1 (改H18. 12. 1)	小牧市
消防（救急）相互応援協定	S44. 5. 29 (改H18. 12. 22)	各務原市

### 広域消防相互応援協定

協 定 名	協 定 年 月 日	協 定 市 町 村 等
愛知県内広域消防相互応援協定	H15. 4. 1	県内の消防本部及び消防署を おいている市町 消防の一部事務組合及び消防 を含む一部事務組合
尾張西北部地区 消防相互応援協定	H19. 1. 17	一宮市、稲沢市、岩倉市 西春日井広域事務組合 丹羽広域事務組合
愛知県における航空機を用い た市町村等の消防支援協定	R4. 4. 1	県内の市町村 消防事務に関する一部事務組 合及び広域連合
木曽川流域消防相互応援協定	H19. 1. 25	一宮市、犬山市、稲沢市 丹羽広域事務組合 羽島市、各務原市、海津市 羽島郡広域連合

### 自衛隊との協定

協 定 名	協 定 年 月 日	協 定 先
航空事故に伴う災害発生時の 連絡調整に関する協定	S60. 1. 18	航空自衛隊岐阜基地
航空事故及び航空事故に伴う 災害が発生した場合の連絡調 整に関する協定	S60. 4. 25	航空自衛隊小牧基地